

天理教祝詞集字解
全

220
95

014457-000-9

特18-985

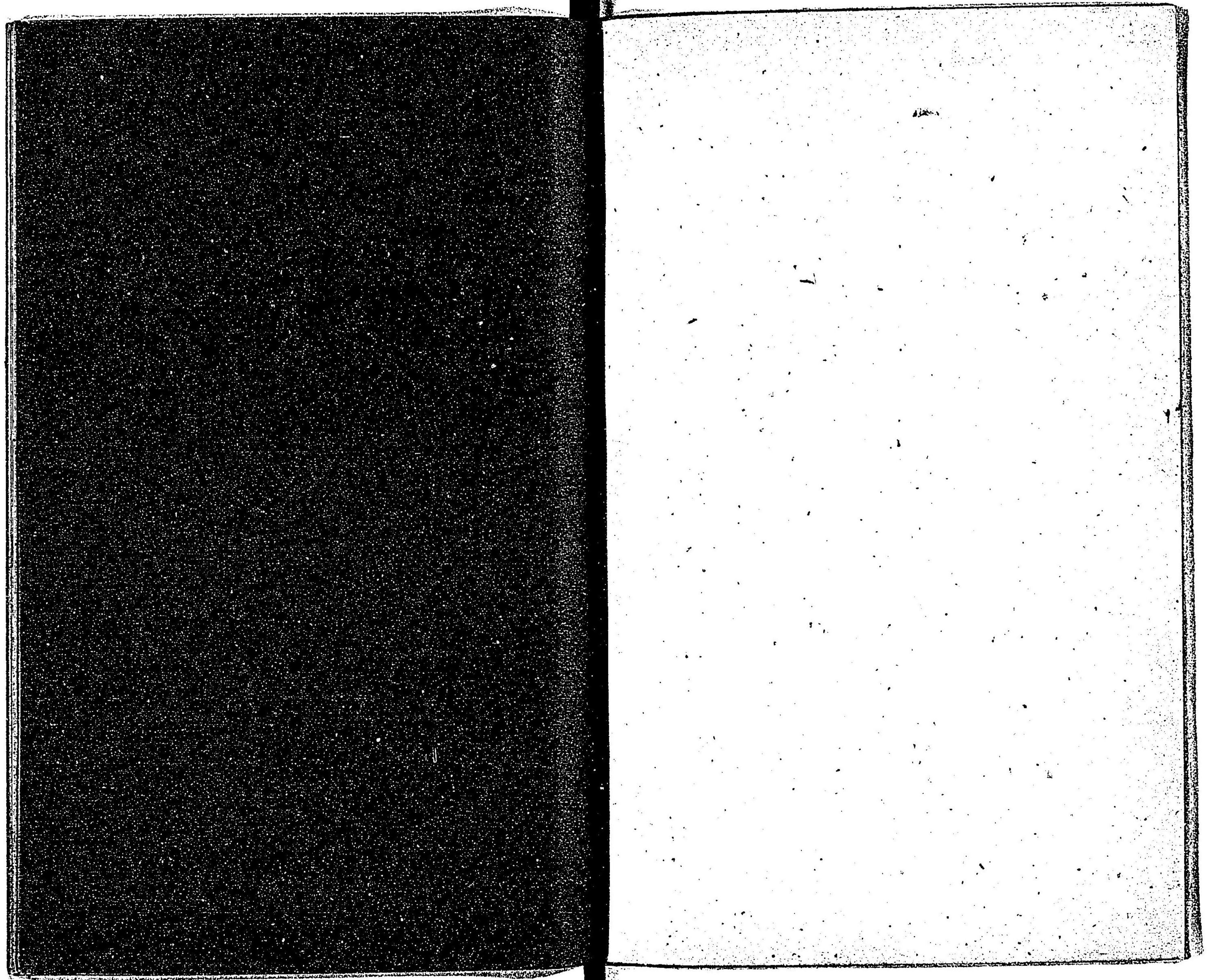
天理教祝詞集字解

田中 儀三郎/編

M36

ABB-0835





天理教祝詞集字解目次

テシリケフ。ノリトチアウメタ
ルホシノミダシ。

主神教祖祭祀之部

オモノカミト、テシリケフノゴセンゾ
サマノ、オマツリノノリトチ、アウメタ
ルトコロ。

一 春季大祭祝詞

ハルノマツリノ、ノリト。

一 秋季大祭祝詞

アキノマツリノ、ノリト。

一 月並祭祝詞

イツキフオマツリノ、ノリト。

一 教祖祭祝詞

天理教ノゴセンゾノオマツリノ、
ノリト。

一 教會開講式祝詞

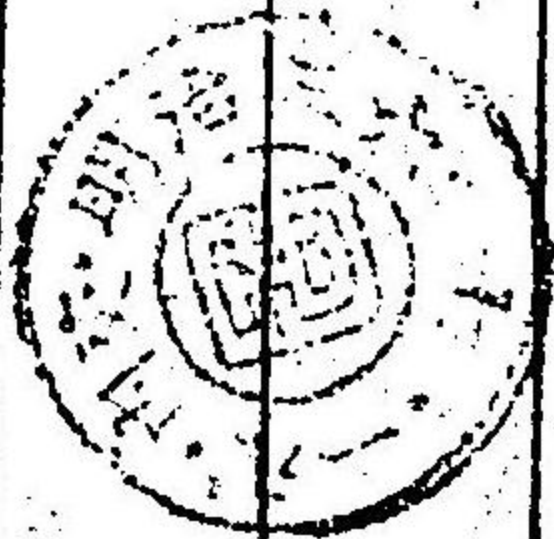
教會デ、コウキチハジメルトキノ、
ノリト。

一 主神假殿遷座祝詞

オモガミチカリヤシロニウウス、
ノリト。

一 教祖神靈假殿遷座祝詞

天理教ノゴセンゾノミタマチ、カリドノ
ニウウス、ノリト。



一 主神新殿遷座祝詞

ミオヤガミチ、シンデンニウツス、ノリト。

一 教祖神靈新殿遷座祝詞

チシヘノミオヤガミノミタマシヅメ、シンデンニウツス、ノリト。

一 主神鎮座祝詞

ミオヤガミ、シヅメノノリト。

一 教祖神靈鎮座祝詞

チシヘノミオヤガミノミタマシヅメ、ノリト。

一 信徒入社式祝詞

シントガ、カウシヤニハイウタトキノ、ノリト。

一 信徒入社式誓祝詞

シントガ、カウシヤニハイウタ、チカイノ、ノリト。

一 毎朝神拜祝詞

マイアサ、天理大神チチガム、ノリト。

恒例祝祭之部

キマリタルホマツリノコトチ、アツメタルトコロ。

一 一月一日祭祝詞

一月一日ノホマツリノ、ノリト。

一 新年祭祝詞

シンホンニホマツリスル、ノリト。

一 紀元節祝詞

ヤゲンセツノ、ノリト。

一 春季皇靈祭祝詞

シユンキコウレイサイノ、ノリト。

一 神武天皇祭祝詞

ウシムテンノウサイノ、ノリト。

一 六月大祓祝詞

六月ノ三十日ノオホハライン、ノリト。

一 神嘗祭祝詞

カンナメサイノ、ノリト。

一 天長節祝詞

テンチヨウセツノ、ノリト。

一 新嘗祭祝詞

ニイナメサイノ、ノリト。

一 除夜祭祝詞

オホツモゴリン、ノリト。

臨時祭祀之部

リンツノマツリノゴトチ、
アツメタルトコロ。

一 祓 祝 詞

ハライン、ノリト。

一 地鎮祭祝詞

ザチンサイノ、ノリト。

一 柱立祭祝詞

イヘノハシラチタルトキノ、
オマツリノ、ノリト。

一 上棟祭祝詞

△ネアゲノオマツリノ、
ノリト。

一 大殿祭祝詞

大神チ、オホトノニマウル
ノリト。

一 祈雨祝詞

アマゴイン、ノリト。

一 祈晴祝詞

テンキニナルヤウインル
ノリト。

一 除蝗祝詞

△シヨケノ、ノリト。

一 除疫祝詞

ハヤリヤマイチ、ロケル
ノリト。

一 道路開鑿起工式祝詞

ミチビラキノシゴトハジメ、
ノリト。

一 道路開通式祝詞

ミチヒラケテ、カイツウシキノ、
ノリト。

一 架橋起工式祝詞

ハシカケノシゴトハジメ、
ノリト。

一 學校開場式祝詞

ガツコウノハジメ、ノリト。

一 祈旅行安全祝詞

アジニ、タビスルコトデキル
ヤウインル、ノリト。

一 祈海上安全祝詞

アジニ、ウミチアタルコトデキル
ヤウインル、ノリト。

一 祈漁獵祝詞

タクサンニ、サカナトレルヤウインル、
ノリト。

一 諸祈願報賽祝詞

イロノノケランハタシ、
ノリト。

一 成年式祝詞

トシハタチニナリタルトキノ、
ノリト。

一 婚姻式祝詞

ヨメヲモラヒタルトキノ、
ノリト。

一 誕生式祝詞

タンジヨウノギシキノ、
ノリト。

一 命名式祝詞

ナヲツケルギシキノ、ノリト。

一 初詣祝詞

ハジメテ、天理大神ニマイワタキノ、
ノリト。

葬儀靈祭之部

ソウシキト、ミタマツツノコトヲ、
アツメタルトコロ。

一 遷靈詞

ミタマウツシノコトバ。

一 鎮靈詞

ミタマシヅメノコトバ

一 發葬詞

ソウシキチダストキノコトバ。

一 誅詞

シンダヒトチ、イタムコトバ。

一 埋葬詞

シンダヒトチ、ウツメルトキノ
コトバ。

一 火葬詞

クハサウスルトキノ、コトバ。

一 葬後靈祭詞

サウシキシテノチノ、ミタマ
マツリノコトバ。

一 十日祭詞

十日祭ノコトバ。

一 五十日祭詞

五十日祭ノコトバ。

一 百日祭詞

百日祭ノコトバ。

一 青年祭詞

一年祭ノコトバ。

一 五年祭詞

五年祭ノコトバ。

一 改祭詞 マツリカヘノコトゾ。

一 遠祖祭詞 ニセシメテマツルコトゾ。

一 信徒合祝祭詞 シントチ、タケサンニイッショニマツル、トキノコトゾ。

一 信徒合靈祭詞 シントノミタマチ、アハセテマツル、トキノコトゾ。

目次終 ミダシシマイ。

天理教祝詞集字解

天理教ノノリトチ、アツメタルホンノジビキ。

主神教祖祭祀之部

オモノカミト、天理教ノ、ゴセンゾサマンオマツリノノリトチアツメタルトコロ。

春季天祭祝詞

ハルノオマツリノ、ノリド。

天地の廣く、ヒト、地トノ 大く、オオキイ 深く、フカイ 厚き、アツイ 天理

の世を幸へ、ヨノナガニ、サイ 人を恵み給ふ、ヒトニシヤ

言卷も畏く、オソレオホ 言卷も尊き、イフモ、タ 天理大神、テンリン 稱

言、ホメテ 竟奉る、マウシア 十柱の大神、オホガミ

大前、オホマヘ 恐み、カシコ 白さく、マウシア 毎歳、マイト 例、シキタ 本教

教師、ハナシスルヒト。 信徒、ヤンシ 諸群鳥、クサンノトリ。 打群れ、アウマ 庭雀

如^{スズ}ヤウニ。蹲居^{フシヤマリ}て。今日^{ケフ}しも。梓弓^{アジヤウ}トバ。大祭典^{オホマツ}奉仕^{ツカヘマツ}

くは。安見^{ヤスミ}し。我^{ワガ}天皇^{オホテノサマ}。高光^{タカヒカ}る。日^ヒの

皇孫^{オホテノサマ}。天壤無窮^{アマツツミノカタニシヘニ}。萬世一系^{マンゼイツク}。荒波^{アラハ}の來寄^{キヨ}す

奉^{マツ}り。鎮奉^{シヅメマツ}り。八洲^{ヤシマクノチ}國內^{ニツボン}の限^{ニツボン}。荒波^{アラハ}の來寄^{キヨ}す

暴風^{アラシカザ}の吹起^{フキタ}つ事^{コト}なく。静御代^{シヅミヨ}

安御代^{ヤスミヨ}。更^{さら}なり。天下^{アマノタ}。公民^{オホミタカラ}。不足事^{タラハルコト}なく

寄惠^{ヨセメ}み給^{たま}ふ。恩資^{オノメ}。辱奉^{カたじけなきマツ}り。神恩^{カミサマノ}

靈^{たま}。進献^{たま}る。御食^{ミケ}。神德^{カミサマノ}。廣野^{ヒロイノ}に生^ヒひし

御神慮^{ミカミサマノ}。産^タりし。平^{たい}げく安^{やす}けく。所聞食^{キコシ}

浦安國^{ウラヤクニ}。灼^しく。説示^{セキシ}し。訓諭^{クニ}す事^{コト}

事^{コト}を。物^{モノ}を。覺^{おぼ}え得^えしめ。悟^{さと}り得^えしめ

身^みを修^{おほ}め。家^{いへ}を齊^{ととの}へ。忠實^{まめやか}に。孝順^{すなは}に

眞心盡^{まごころつく}さしめん。本分^{ほんぶん}。立身處世^{たてみあた}

福^{ふく}へ。外國^{こくがい}。交際^{まじは}り。異^かに。限^{かぎ}なき。輝^かき

巨^{ひた}らしめ。鹿^か自物^{かみづぶつ}。膝折伏^{ひざをり}せ

鵜^う自物^{うづぶつ}。頸根突拔^{くびねつぱ}き。拜^{おろ}み。白^{しろ}す

秋季大祭祝詞

久方^{ひさかた}の天^{あめ}。極^{きは}なく。荒金^{あらがね}の地^ち。涯^{かぎり}。主宰^{しゅし}

しオサメナサ 齋イフキはりキヨメルコ 清サキはりキヨメ 「三枝」稜イヅツ威ウイコ 奉オホヤまつ仰アガりメル。

靈クシ妙ギフシ 美ウツクしくキレイ 終オハへてテ。 露ツクシ霜シロの秋アキ たりツエヤ、シモノフ

故ナツ 紅葉ニホの赤アカき心ココロ 奉ツカ仕ヘらくスルコ 大神オホガミ等ナリ伊イホホ

ガミタチナ
ド。

月並祭祝詞

「三枝」何ナニ某ガシ 月ツキ次ナミ 宇ウ豆マメの御ミ酒サケ 「四枝」鶉ウツ成ナすツツラン

伊イ波ハ比ヒ 毛モ斗ト保ホ理リ 諾ウツひシヨウチナサ 幣ヘ帛スルモノ 安ア幣ヘ帛スルモノ

足タ幣ヘ帛スルモノ 聞キ食シ 手テ長ナガの御ミ代ヨ 茂イカシク御ミ代ヨ カサ

湯ユ津ツ 磐イハ村ムラ 堅カキ磐イハ 常トコ磐イハ 立タチ榮サカえフエル

安ア禮レ坐マさむルコト 皇ミコ子ノ 皇ミコ族ノ 百ヒャク官クワン人ニン等トウ

四シ方ホウ國クニ 災ワザ殃ハシ 八ヤ十ジュウ續ツキ 伊イ加カ之シ 八ヤ桑クワ

枝エ 武ム久ク佐サ加カ 夜ヨの守モリ 惠メデまヒ 薩サツ摩マ 八ヤ桑クワ

教祖祭祝詞

「四枝」背セに負オひセナニ 浮ウ瀨セに落オスル 蒼アヲ生シ 湛タへてテ。 現ユツシ世ヨ

生ア出イでシマレル 天アメ理ノ 教カミ導ミチかんチシヘテ、ヨキホ 凝カじカクシ

思オモを固カタめスルコト 立タて給たまひシラヘ。 起オし給たまひシラヘ。 布シ弘ヒロ

らしめチシヘチヒロメ 増マりコト 奉オホ悦レシク 奉オホ辱シりてアリガタク 「五枝」

靈ミ社ヤ祭マツル 齋イフキ 永トコ遠ナカにナガラ 彌イ廣ヒロにイヨクヒ 彌イ遠ヒロ

にイヨク 隨まにシタガヒ 彌益いやく 隆盛さか 請祈こひのみ

教會開講式祝詞

ケウクワイテオハナシハシマルトキノ

諸もろをオホク 率ひてヒキツレ 奇くしくフシギ 妙たなるスケレタ 大御功徳おほみ

オホキイテカラ 「五枚」ウラ 四方八方よ 嚴いづのイカメシ 參集來まてテテキ 開講あシハナ

ハツメ 執行しふシマシになむウリ 齋鎮めい 坐奉りまてマツ 禮代い 齋いのニカ

テシルシトシ 大野おほのハラ原ハにヒロイ 生おふるルケ 大海おほのハラ原ハにオホキイ 鱒はの

廣物ひろ ヒレノアルホキイ サカナ 狹物さ サイサイ 横山よこのヨ如よくウニ 置足おはして

禍日神まが サイナ 禍事まが 麗うるはしく 他人あニタニ 幸さへ給ひて

サイハイチ、アタヘクダサレテオモテ 「六枚」 稜威い 細く 千足ちのニツ 國くに 宇萬志國う

主神假殿遷座祝詞

ミオヤガミチ、カリドノニウツスノリト。

奥床おく シヨオク 眞屋ま 齋麻波利い 清麻波理き 本殿も

造仕つく コトコシラ 假殿かり 躓まひウラ 「六枚」 神直日か

大直日おほ 豊御酒とよ 安幣帛やす 大殿舍おほ 畢を

へむウシ 大土おほのサ 底津石根そこ 搖ゆるぎなく 大おほ殿み舍あ

教祖神靈假殿遷座祝詞

チシヘノミオヤガミノミタマテ、

「七枚」 汝ながミ命こと 殿宇み 遷座うつ 式わ 宇麻う

良らクウマ 諾うひシ 大座おほ 伊與々い

主神新殿遷座祝詞

ミオヤガミチシンデンニウツスノリト。

〔七枚〕ウラますルゴザ 下津石根シモノ 堀固めカダメ 上津石根ウヘン 築ツキ

立てヤシロチコ 高天原コトノ 千木タル 高知シラヘテ 天の御蔭ムネノ

日の御蔭ムネノタカ 業畢へてガケア 遷座ミタマチカ 甘菜アマイ 辛カラ

菜カライ 甕の上ヨキサ 高知タカシ 甕の腹満トクリニサケ 雑物イロイロ

殿舎ヤシ 千代萬代マデモ 彌著イハル 功德ラガ 彌高イハタカ

〔八枚〕オモテ 手長ヨクオサマ 茂御世サカエタ 八十禍日神タクサンノサ 青雲アヲクモ

霽極みアチキクモノ 墜坐クダル 向伏ゴイコサニ 大倭ニッポ 豊秋津島根トヨアキツシマネ

久茂并奈須トホ 遙ハナレタ 外國コクノ 弘布らしめヒロガルト

教祖神靈新殿遷座祝詞

チシヘノミオヤガミノミタマチ シンデンニ、サウスノリト。

先つ頃マヘヨ 工匠ダイク 勤勞ツカサシ 成終へテケアガ 〔八枚〕ウラ 故ユエ

嚴イフのカオン 齋祭りツツシン 夜の守ヨノモリ

主神鎮座祝詞

ミオヤガミ、シヅメ ノノリト。

天の壁立の極みワカクニ 退立セキタ 霽ハルカミ 蒙らぬイコウノウ

〔九枚〕オモテ 大神伊オホガ 久方の天地ヒサカタニハワケナ 大座オホ 成ナシ

出コシラヘナサ 時節ジセ 生イキしイ生イける物モノ 兄弟アニ、オト 處ココロ

を得しめアンシンシテ、ハタラクコ 宇麻志國ヨキク 幸へ給ひてシアハセチア 万よろづ

千秋ナガイ 長五百秋ナガイコ 浦安の國ココロノヤスキクニ、 事依しマカセル

大八洲皇國ニツボンノコ 大御國風ワカクニノ 御政事セイ 言舉せぬ

ハヌ。トイ「九枚」三栗の中トイフコトニツ中津御代ナカヅミ繁シゴトノ、フエタ成ナリ

以行モエヨキ種々クササ状サマ争いて隠かくれめカクレンヌ澆ス

季よの世ヒトノココロ生出あはれサマて行レくべきオユナ辨わ知まりオ

大教オホマサシ萬よろの數かずもてカズ小指こゆび瑞サのシ

御殿舍みどの「十枚」稱ホメル齋いはひ新にいのサ生日いくひの足日たるひ

朝廷てうてい親王みくに諸王おほきみ百姓おほみ夜よるの守まも

日ひの守まもりサリ關係かかふアル禍事わざままじこ

八十續やそ五十八桑枝い眞幸まくシアハ

教祖神靈鎮座祝詞

教祖ノミタマヲシヅメノノリト

「十枚」八十日日やそ言いはまくハ畏かしかれどももガ梓あづ

弓ゆみ空蟬うつせみの世トイフコトニツ降くだりル行ク慨なげかひ

浮瀨うきせに落おちアてク見みをなはし

燒鎌やきかまの敏トイフコトノ敏心こころ迷心まよ心こころ「十一枚」搔消かきすキリ

終日ひら終夜よる烏玉うたまの暗やみにニ得えたヒ

らん如ごとくエタル請こ祈の敷し弘ひろめんヒロメル可あ憐はれフ

御天久良みて宇豆那比うづな「十一枚」勤勞つとめかしめセイ

信徒入社式祝詞

職やく姓名な旨め畏かし奉こりテ斯この道みち

切なる イリダイココロ 隨 シタカウ **十二枚** 剛健 タツシヤノ 安穩に アンシン 廣

き厚き タクサン

信徒入社誓詞

シントノ、天理教ニハイワタモノ、カミニヤクソクスル、コトナ。

劣き ツマラ 教導 チシヘテケン 儀式 ギシ 行勵 ヨクセイチ 世の事 セケンノコト

家の業 ウチノシ 露違ふまじく チヨツトモ 過犯しげん ブルコトナシ **十二枚**

見直し ミナシ 聞直し キコナシ 忠人 チウギノ 幸人 シアハセノ

毎朝神拜祝詞

マイアサカミチカガムノリト。

持齋く チサウク 御恩頼 ミタノヨ 成務む スルコ 睦合ひて ムツギヒテ 向々 ムクムク

サマザイニ。

恒例祝祭之部

キマリタルマツリノコト

一月一日祭祝詞

一月一日ノ四方拜ノ

十三枚 初日 ハツヒ 豊榮昇 トヨサカノト 峽 カハ 茂立る シゲツテ 五

百枝 ヒャクエダ 常磐 トヨサカ 眞根掘 マコト 曳延へて ヒキノベ 齋

回リ ホウ 清回リ キヨホウ 伊都幣 イツヒ 美賀祕 ミカヒ 冠

進退 シジメ 千代 チヨ 若水 ワカミヅ 餅飯 モチノコ 横山成 ヤマノヤ

例 タメ 宇良々 ウラウラ 東洋 トウヤウ 波荒る ナミアラ

置足はして オキタラシメ 明津御神 アカツミカミ 知食す チシク 手永 テナガ

風騒ぐ カゼサバユ 宇良々 ウラウラ 知食す チシク 手永 テナガ

茂御世いかしむ ミヨ。成幸なりまさけへ。天津日嗣あまつひつぎ。共ともヨニ。彌遠いやはに。彌永いやはに。百官人ひやくくわんにん。クニ。

元始祭祝詞

一月三日のまつりののりこ。

〔十四枚〕内日刺うちひさす。天放あまはなる。平たいく。穩むかし。ア。

諸もろくト。參來集まゐりあひ。風かぜの音ねの遠とほき古いにしへ。千ち。

早振はやふる。神代かみよ。十柱じしちの神かみ。千ち。

斗と乃の辨わか神かみ。大倭おほやまと。豊秋津洲とよあきつしま。瑞穂國みづほのくに。

〔十四枚〕字麻志國あまのましかくに。皇孫命すひまののみこと。空蟬うつせみ。受垂うりして。

御恩頼みたまのたより。例たとひ。白幣しろへい。青幣あおへい。諸罪咎もろつみとが。

大殿おほほの。曳ひく。彌遠永いやはに。公民くわみん。諸罪咎もろつみとが。

鶉うづなす伊い。這はひもこほり。孝明天皇祭祝詞かみめいてんわうさい。

孝明天皇祭祝詞 一月三十日ノ 孝明 天皇祭

〔十五枚〕後月輪東山陵のちづきりんとうざんりやう。天皇てんわうはしも。仁に。

孝天皇かみめいてんわう。彌生やよひ。皇太子みかど。高御座たかみくら。大おほ。

座ままして。總攬そうらんれ。東あづまの方かた。偏あまはから。

憤慨いきどほ。志士こゝろあきらむ。〔十五枚〕千早振ちはやふる。

天下あめがしたの事こと。術すべだにあらざりき。惜あはしくも。

雲隱くもかくれ。蒼生あまのひたひ。大御代おほみよ。四方よの海波なみ。

静なる時 ヨクオサマリ 生長ふる イキテオスル ことばはしも コトノチケルノ 種 クミ

々 イロイ 餘澤 オノト 故 カレ 往にし トスギタコ 事ども コトナ 徳奉り シホヒマツ

慕奉りて オモフ 「十六枚」神籬 サカキチタテメグラシテ、ソレチカミ 交せる マヒス

業盛に シゴトガ、タクサン 兵強く イクサニ 彌益盛 ダンノクサカ

新年祭祝詞 シンネンノオマツリノ

豊榮登に サカンニ 「十六枚」奥津藻 オキニハエル 葉邊津藻 ハフテア 御服は ミフク

明妙 アカイモメ 和妙 ヤララカナル 荒妙 アライモメ 清苧 ケレイナル 木綿 キヌ

垂で タマゲシニ 太玉串 サカキノエダニ、ユフチツゲテ、ガミニニタマツル、モノチタマゲシ

齋知り アウツシン 嚴知り イゴシ 相宇豆那比 サケテクダサ 皇御孫命 スメミマノミコ

遠御膳 トゴゼンノコ 長御膳 コゼンチ 赤丹の穂 アカイ 五穀 チイフ 手脰に テウデ

水沫 アツノ 畫垂 タラスコ 向股に フトモモノ 泥畫寄 ドロチツ 八束 ヤツカ

伊加志穂 ヨクデキタル

紀元節祝詞 ニ月十一日ノ紀元節ノ

「十七枚」奉齋 マモリノカミト 宇豆 オウソカタ 神日本磐余彦天皇 カミヤマト

知食 オサメナサ 紀元 クラサニオウキナサレタトシチ 言壽 オイハロス 式 シキ

倣奉 マネチシ 百取 タクサンナラベル 置足はして オキナラ 「十七枚」明 アカ

津御神 アラタナカ 手永 ナガイコ 湯津磐村 カタイ 堅磐に常磐に カハラメ

無窮に テイワマ 敷座る キヲタルコト 島の崎々 サキノハシ 搔見る カサミ

磯の崎々 クニノハシ 異き フヤシイ 交る ナカマニ 峻國 タカイヤマン 八

十綱 タクサシノ 輝渡らしめ クニノイコウノサカ

春季靈祭祝詞

三月廿三日ノ春季靈祭ノ

「十八枚」事始め カミサマガタカマノハラニオクダ 花を以て祭り ハナチンナヘタマ 厳し

く オゴソカナ 任に シタガイ 「十八枚」折竹 カタケ 登袁々 ホド 白和

幣 シロイゴ 齋知り ツツシ 嚴知り シテ 櫻木 トガトイフキ 次々に ツツク

到らぬ限 イキワタラヌ

神武天皇祭祝詞

四月三日神武天皇祭ノ

神牀 カミチオマツリ 奉坐奉齋 ツツシンテオマツリ 「十九枚」生坐 オウマンナサ 大

大御旗立 イクサニオイ 率ぬ ヒキツレナ 名草戸畔 キノウノワ 丹敷戸畔

兄猾 ヤマトニチツタワ 兄磯 ヤマトニチツ 長髓彦 ヤマトニガツ 魁

帥 ノルモ 野め ハツニア 撫給ひ カワイガツテヤ 愛給ひ カワイガツテヤ 三月

甲午朔甲辰 三月十一 崩給ひき オカクレナ 天業 コノクニチオサ 萬機治給

重奉 オンレオホクオ 恭奉り フリガタクオモ 天に仰ぎ テンチ 地

に伏しつゝ チニカラダ 「十九枚」入紐の カリキヌ、ナドノヒモニ、メチノフタスゲアツテ、ム

安逸に ヤスナス

六月大祓祝詞

ロクケアツノツモゴリニスル

「二十枚」天津罪 テンヨリウ 國津罪 クニノカミヨサウ 大祓 六月、十二月、ノツモゴリニスルカ

觸れけん ウケタ。 穢事 ケガレコト。ワルイコト。

神嘗祭祝詞 十月十七日ノマツリ

稱辭竟奉る オホホメマツル。シアケル。 梓弓春の オウマウノハルノ。 時を違へず フルベキトキニアヘフ。リ、フクベキトキニカ

伊加志穂 イカシホ。ルホ。 式典 シキキ。 御贄 ミケ。オソナヘモ。 懸税 ケケ。イネチホノママデアチダケニカケテカミニマツル。

千稅餘五百稅 チカラヒヨクノカケガカラチオソ。ナヘスルコト。 十日餘七日 トヒカ。アマリヌカ。 神水片鹽 カミミヅノカタシ。

荒稻 アラシホ。イネ。 和稻 ニギシホ。イネ。 甕の上 ウツカノウヘ。カメノウ。 高知り甕の腹滿並へ タカシカサノウツカノハラミナニ。

波多の廣物 ハタノヒロモノ。オホキイウチ。 波多の狭物 ハタノサヤモノ。コサヤ。 奥津藻 オキツノウミサ。

葉邊津藻 ハエノツノウミサ。ウミノナカニ、ハツタルウミサ。 伊賀志御代 イカシホノミヨト。サカシ。 玉膳 タマヂ。イガキノコトチイフ。

内津御國 ウチツノミクニ。イツホノチ。 仰ぎ慕はしめ オウギモトメ。ケケウコソノクニトオモハス。

天長節祝詞 十一月三日ノ天長節

八十日日 ヤソコカヒ。タクサン。ノヒ。 生日の足日 イクノタリノヒ。マツリノヒチホメタイフ。 重日 イカシヒ。イカメシキ。 限 カギリ。

豊壽々奉らむ トヨヒサヒサヒマツル。オイハヒマウシアケ。 美乃利 ミノリ。コメノテケル。 壽詞 ユキゴト。イハフコトメ。

手拍 テウチ。カシハテチ。ウツテ。 大内山 オホウチヤマ。オアテンシノゴザル。ゴシヨ。 色濃き いろこ。イロノアチノトシタルコト。 御溝 ミカハ。コト。

流盡せぬ ながれつき。ナガレテシマイニナラヌコト。 壁立極 かきたつき。カニノフラン。カギリ。 退立限 そむたつき。イツホノフラン。カギリ。

新嘗祭祝詞 十一月二十三日ノ新嘗祭

豊秋津洲 トヨアキツノシマ。ニツホ。 瑞穂國 ミツホノクニ。ニツホ。 五穀 イツツノタケツモノ。コメ、ムギ、マメ、ヒ、ヘ、ア。 作り ツクリ。

こ作る つく。ウクルドンナ。モノデモ。 災なく わざはひ。サイナン。ナシ。 瑞穂 ミツホ。メテダクイネノヨ。クテキル。 水沫 みづは。水ノアヲ。ホノアヲ。 搔 カキ。

垂り た。ホツノトオ。ナルコト。 向股 むきもも。フトモ。モ。 泥搔寄せて ひぢかきよ。ドロチ。ツケテ。 奥津山 おくつヤマ。オクツノコト。

初穂

イシマ 八束穂 ヨクテケタイネ。

伊賀志穂

ヨクテキ

千頼

ホ。セン。タクサンノ

八百頼

タクサ。ンノボ。明妙

照妙

ウヤアルモ

和妙

ヤハラカナ

持齋廻

キヨ

持清廻り

アタリチキレ

遠御膳

ウツパナル

長御膳

ウツマナ

赤丹

カア

片葉

ハチイ 茂御代

サカンナヨ。

除夜祭祝詞

ガホツゴモリノ

喪無く

カナシイコト

事無く

ソウダワガナ

宇良安く

ユロニブン

宇良

楽しく

ココロタノ

躊躇ふ

タダダダ

許々太久

タクサン

最終

イナマン

千重

の一重

センブン

相宇豆那比

セウチシテグダ

往先も

カラン

祓祝詞

ハラヒノノリト。

祓戸太神

カミノマン

參來集へ

アツマツナ

穢等

ソルイオ

地鎮祭祝詞

ダチモノチタタルトキノ

堅磐に

常磐に

平び

ナラシ。

埋め

ヒクイトコロニ土チ

齋柱

齋堀居る

ツツウシミテ木リト

生日の足日

イフコトメ

伊波比

ミツシ

由流伎

ウコカメ

千代

イツマテ

萬代

ナガラク。

柱立祭祝詞

イヘノハシラチタテル

齋庭

カミチマツル

殿宇

ヤシロ。

造仕

ヘル。

恩頼

メグミ。

勤勞きて

桁

イヘノヨコニワタ

梁

ムナギ。

齋定めて

ツツシミキメ

禮代

ソナヘスルモノ

御饗ミカニ オンタマ 伊波比イハヒ ンツツシ 嚴イツ ノ オゴンカ 壯嚴ソウケン ニ ルヨウニ 畢ヒ ヘ シマツ

上棟祭祝詞 ムネアゲノ

〔廿五枚〕佐彌古自サヤコジ ネカラホリ 根掘ネヒ ネカラ 青和幣アヲヒ ヘイ シロヒ 白和幣シロヒ ヘイ

神籬樹ヒメツツ サカキチ スルト 招奉ササマツ マツル 令坐奉マツマツ ル 奉齋イハヒマツ

奥津藻オキツ アルモ 障滯サマシ ル 緩忘オコシ ル 〔廿五枚〕麗ウツ

しく ニ シマツ 意へ ウラ ナウ 相ト 齋麻波理サイマハ メ 清麻波理セイマハ

宇豆ウツ ケ 大御酒オホミ ケ 味物アジモノ モ 高成タカ シテ 伊津イツ

玉串タマ ヘ 清苧セイソ チ 木綿キ コ 眞柱マコ コ 戸牖ト

錯サマ ア 緩ユル ビ 取替トリ ケ 底津石根ソコ ノ 極キ ク 青雲アヲ

の霧キリ ノ 限カ リ 萬千秋マン チウ シウ 長五百秋ナガ イ ハツ ヒ ヒ ト

イツマ
アモ。

大殿祭祝詞 天理大神チオホトノニマツル

〔廿六枚〕忘ワスレ ル ハ タ ナ ク 大峽オホ カ キ ナ 小峽コ カ キ ナ 齋部イハヒ ベ

齋斧イハヒ ノ 齋鉏イハヒ ノ 御翳ミカゲ ノ 奉マツ リ ケ ラ ク ハ

天津祝言アメノ イハヒ コ 言壽コト イハフ 大宮地オホ ミヤ チ ノ チ ノ 下津網根シタ ツ ツ ツ ツ

〔廿六枚〕葛目ツツメ ノ 噪ノイ ギ ナ ク ナ 炳然ヒョウ ゼン カ ク 顯然シヤ ゼン カ ク

神直日カミ ナ ヒ ツ キ チ ア ラ タ 大直日オホ ナ ヒ ツ キ チ ア ラ タ メ ル

祈雨祝詞 アマゴロ

【廿七枚】日ヒ遍ヒくクイイチチニニモモ、シシニニ

河水絶カハノミヅナにニククナナリリ

堀溜ほりためめししイイダダメメテテオオ

盡つ

損こははれれナナルルトト。枯かれれななんんココトト。

公おほ民みニニシシンンミミ

諸もろ歎くきき悲かなみみイイロロ

爲せんん便べんののススルルホホウウ

手て着つををししららずず

臨ま時じニニシシンン。伊い

豆まののシシイイカカメメ

忌い屋やケケガガレレチチイイムム

齋い知ちリリニニシシンン。嚴い知ちリリ

幣ひ帛びやくヘヘモモノノ。宇う豆まめヨヨキキ。

八や取とりりテテキキルルヒヒロロイイ。

日ひののここととくくニニチチイイ

伊い這はひひハハウウココ

毛け斗と保ぼ里りルル。

幸さいへへ給たまひひててククダダササレレテテ。

方ちアアチチララココ

騰のりりアアガガルルココ

天あま津つ水みづミミツツノノ。甘あま

水みづををららナナドド。

多た藝ぎ智ち流ながれれてて

取とりり作つくれれるるニニツツクク

奥おく津つ御み年としルルイイネネ。

蒔ま生せいふふししアアルル。

立た返かへりりヘヘルル。

榮さかににココトトシシゲゲルル

鹿しか自じ物ぶつ膝ひざ折をり伏ふせ

鵜う自じ物ぶつ頸うで根ね突つ貫つきき

ノノリリトトチチアアゲゲルル人人

ノノリリトトチチアアゲゲルル人人ガガ

祈晴祭祝詞

テテンンキキニニナナルルギギウウイイノノルル

【廿八枚】霖あめ雨あめニニ日にちモも三さん日にちモもフフ

降ふりニニ降ふり續つききニニフフリリテテヤヤママ

落お瀧たきつつオオチチルル。傷きずはは

爲せむむすすべべななきき状じやう

米こめ具ぐししココトト。

科しな戸とのの風かぜゼゼカカ

伊い吹ふ起おししススココトト。

伊い照てり徹とほららせせノノササススココトト。

青あお菘なアアチチキキ

山やまノノナナカカニニ。成な幸さいヤヤウウニニ。

除蝗祭祝詞

ノノリリトト。

【廿八枚】明あきつ津つ御み神かみカカミミササママ。

撫な給たまひひカカハハイイガガリリナナ

沸わ出いケケルルココトト。

悪事アクシ。災事サイナ。右寄りウヨリア。左寄りサヨリア。乞禱ギトウ。須賀スガ。

太玉串オホタマシ。遠御膳トホミケ。千穎チノホ。八百穎ヤチノホ。

カクサン
ノホ。

除疫祭祝詞

ハヤリヤマヒチヨケル
ノリト。

廿九枚 疫病ヤマイ。多オホクに。阿都加比アトカヒ。惱みウツシ。露の命ツキノイノチ。

争カモふばかり。消亡クハル。手着テツキ。不知シラに。

神議カミガミ。速イソげく。御霧ミキリ。吹拂フキハふ。凶事アクシ。

追退オヒソグ。煩ワザはしき。

道路開拓起工祭祝詞

ミチビラキチハシメルトキ
ノリト。

久形クガタの。益人オホクノ。四方八方ヨウホウ。成ナはぬ。

某々里ソノソノ。往イキ。往通イキトふ。生日イブヒの足日タビヒ。由ユ。

志利シリ。伊都志利イトシリ。

開通式祝詞

ミチビラキノ
ノリト。

姓名セイメイ。新治ニウジの道ミチ。畢ハへ。高成タカナし。

常磐トホイに。堅磐ツツミに。

架橋起工祭祝詞

ハシチカゲル、シゴトハシメノ
ノリト。

川カハはしも。遠近トホイの。短山タカヤマ。許コ々コ。太久タカキの。濺ソク。

む時ムトキ。手着テツキ。打橋ウチハシの。高橋タカハシ。右寄りウヨリア。左寄りサヨリア。

ヨリヨ。緩忘るたのみせり。トナシニ。【卅二枚】足たひにシテ。報賽かへりまをし。オシラセスル。コトナ

成功式祝詞

モノノデアガリタルトキノ

齋場いば。カミチオマツリ。忌竹いみだけ。ムタク。刺立さしたて。テ。曳延ひきは。ハ。比母呂伎ひもろぎ

サカキチタテ、カミノミムロトシ。招奉りをきまつ。カミチマ。令坐奉るをせまつ。ゴザル。夕曉忘るるゆふあけわするば

かり。ヒルヨルチ。晝ひるはも日ひの盡こぼれ。ヒルイナニ。夜よるは夜よるの盡こぼれ。ヨルナ。豊榮登とよまさかのぼ

イヨクサカ。【卅二枚】壯大いかしく。カニオン。何恰うまらにク。美麗うるはしく。於牟加むか之し

美み。トオモウ。味物あじもの。モノ。進退しんたいひ。ルコト。匍匐はらばひ。ト。地震ちきん。ゲシン。彌遠いやまほ

に。アイワクマ。彼方をち此方こち。アチラノ人モコチ

學校開場式祝詞

ガクコウノカイコウシキ

【卅三枚】眞屋まや。ムネノマヘト、ウシロニフ。綾あやに畏かしこま。智ち。現身げんみ。アルミ。伊い

蹂躪じゆりやくらへ。ニウランル。打碎うちくだかへ。ルコト。人ひとなりながら。人ひとアアリ。權ちから。ヨク。亡う

せて。ナクナ。苦瀨くせに落おちて。ニアルヒテ。悔歎くみなげかん。許止こご和理わり。西にし

邊への國くに。セイヨウ。【卅三枚】煙立けいり並なべ。フネカラ、クログムリ。大國おほくに小國こくに。日本にっぽん、シナ、チヨウセ

落おる限かぎなく。ノコルトニロ。伊往回いおうわいり。マハル。彌益國いやますくにの。イヨク。ト。富とみ

強つよきをしも。カネアリ、ウヨクス。圖はかりけらくは。ルノハ。由々ゆゆ志し。オソレオ。大御おほみ

令おきて。イフ。國內くにうち。日本にっぽん。種々くさくさの業わざ。シゴト。神習かむならはしめ。ナラハシ。嚴重じんじやうに

イカメシ。【三十四枚】鶉成うしなす。ヤウニ。齋伏いはひふ。ツ。シ。教おしへむ人ひとの。チシヘル。教おしの

道みち。人ひとチチシヘル。踏達ふみたがふ。オコナイ。學まなばん人ひとの。ナラウ。學まなの則のり。ガクモン。過あやつ

ナソコ 枉津日 ワツルヒ 率り ヒキイレヲ 口會ふ クチカヒ 大御言 オホミコトコトヘ

碁止 ヒドク 一日タツ

祈旅行安全祝詞

アジニヒテキルヤウタイノル

「三十四枚」首途 ウチノチニ 保伎碁止 ヒキイレヲ 保伎母止保利 ヒキイレヲ 由

志利 シリ 伊都志利 イトシリ 由伎加布 ユキカフ 隈々 クマクマ 踏迷ふ フミマシ

坂の御尾 サカノミオ 瀬碁止 セヒドク 塞坐て サマシテ 湯津磐村 ユツイハムラ

枉津日 ワツルヒ 上 ウヘ 上を守り ウヘヲモリ 驛 ウツリ 波天武 ハテチ

神防 カミサマノモリ 「卅五枚」喪なく オモテ サイナ

祈海上安全祝詞

恐みも オソレツツ 眞織 マコ 志自奴伎 シジヌキ 舳解放ち ハナシテ

艦解放ち ヘシキ 伊古岐 イコギ 船装して フネヲダス 置座 オクバシヨ

置足はして オキナラ 安幣帛 オソナヘモノチホ 「三十五枚」足幣帛 オソナヘモノ 大

海原 ウナ 伊古岐毛止保留 イコギモトヒヨク 伊古岐渡り イコギワタ 天武 テウ

古斗々々 コトトト 萬我 マンガ 異しき イシキ 枯野の船 カレノフネ

祈漁獵祝詞

サカナチ、タクサントレルヤウト

禱 ネガフ 浦回 ウラヒ 奥津波 オキツナミ 邊津波 ヘツツナミ 「卅六枚」及ば

む加伎利 ムカキリ 伎波美 キハミ 伊漕回 イソウヒ 伊往回らひ イキマハリ

海幸 ウミノエ 獲てむ トラウト 爲らくを シマスル 鱒の廣物 ハタ 鱒 ハタ

の狭物ウチサイ 請コヒの隨まじにネガフイ

諸祈願報賽祝詞

ネガイゴトノカナヒタル
トキニヨムノリト。

【三十六枚】恩頼オノヨリミメ 幸給サキハひて

サイハイチアタ
ヘラシテ。

嬉うれみ
モヒテ。

鶉うし成なりすウツラノナ 齋いひツシシミ。

回まほり マハリ。

成年式祝詞

ハタチニナリタルトキノ
ノリト。

【卅七枚】現身うつそみ

年普としまくツユアンニ

稚わくトシイカ

劣おきアカ 喪もな

くサイナン 健たきツヨウア 成なり々なりて

新玉あらたまのツケテイフコトズニ 一はたこせ

醜しキタヘイタイ。

御楯みたてナル。

保岐古止ほきふるど 奉まらくを

長人ながびと イノチノナガ 遠人とほびと カシコイ

婚姻式祝詞

コンレイノシキニ
ヨムノリト。

掛卷かきまくも イフモニ 眞名子まなご コノイシ

宇都會美うつそみ コノロニアル

奇くしくフシギ

なむウアラ 言壽ことほコト。 齋万波利いばんぱり ホウくチキヨ

清万波利きよばんぱり ガルリチキヨメテ。

【三十八枚】

命名式祝詞

ナチウケダトキノ
ノリト。

御幸みさき グシミ。 諾坐だくざして

撫給なひカワイガリ 麻賀言まがこと サイナ 麻賀まが

事こと サイナ 眞幸まさき くシアハセヨ 末遠永すえんえい マスエイツク

仕奉つかへらしめ オツカヘマ

初詣祝詞

ハジメテカミニマ井ルトキノ
ノリト。

宇豆の大前うづのほほまへ マツトキカミノ

於牟賀志美おむかしま オロコマシト

禮れい ルコト。 大御多賀おほみたか

良ヨシ コト シ ン ミ ン ノ 率ヒラる ロ キ コ 。 〔 卅 ノ 枝 〕 醜シの御ミ楯タテ ヘ イ タ イ 。 ヨ リ セ メ キ タ モ ノ チ フ セ フ 伊イ美ミ

自ジ伎キ功コウ ハ ナ ハ ダ シ キ テ ガ ラ 。

葬儀靈祭之部 ソ ウ シ キ ト 、 タ マ シ イ チ マ ツ ル コ ト チ カ イ タ ル ト コ ロ 。

遷 靈 詞 タ マ シ イ チ ウ ツ ス ト キ ノ コ ト ズ 。

阿波礼 カ ハ イ ソ ウ ニ モ 。 惜オしくも カ シ イ コ ト ニ ン 。 身退り ミ シ メ コ ト 。 坐マぬるかも ウ シ マ

葬儀 ハ ツ ク ノ キ 。 ソ ウ シ 。 汝靈魂 ニ ガ ミ タ マ 。 ア ナ タ ノ タ マ 。 家内 イ ヘ ノ チ 。 奉齋り イ ハ ヒ マ ツ 。 ウ シ ン テ 奉鎮ら

よよく オ マ ツ リ シ タ ク 。 欲ホれば オ モ フ ス ラ 。 分魂 ワ カ ミ タ 。 ワ ケ タ ル タ マ シ イ 。 靈璽 ミ タ マ ノ シ ル シ 。 大坐オまシして オ イ 。

留居坐 ト ル マ ツ テ コ ザ ル 。 〔 四 十 枝 〕 御枕邊 ミ タ ク ラ ノ 。

鎮 靈 詞 タ マ シ イ ノ 、 シ ン マ ル ヤ ウ ヨ ム コ ト ズ 。

小床 コ ト コ ノ 。 靈屋 ミ タ マ チ マ ツ ル 。 永遠 ト シ 。 モ イ ツ ノ 。 マ 。 齋奉イらク ウ シ ン テ 、 ス ツ

清キき明アカき キ レ イ テ 、 グ モ リ 。 禮代 レ イ ト シ テ タ テ 。

發 葬 詞 ソ ウ シ キ ノ テ ル ト キ ニ ヨ ム コ ト ズ 。

〔四十枝〕 性セ質シツ ウ マ レ ツ キ 。 忠實 コ ノ ロ ニ イ ツ 。 家を齊イへ サ メ テ 。 身を委オね マ カ

心ココロを盡ツクし コ ノ ロ ノ ア ラ ン カ 。 朋友 ト モ ダ 。 モ ウ ナ 。 ヒ ヤ ク ネ ン モ 、 セ ン ネ ン モ イ キ 。 在

經ヒぬる ガ 。 ア ツ ダ 。 去イし 。 ヒ ギ 。 例タならずして イ ツ モ ノ チ 。 心地 。 キ モ 。 病臥ヤし

伊坐イしげるに ガ 。 ア ツ ダ 。 齡トシ 。 此コの世ヨの限カとして コ ノ ヨ ニ ア ル オ

逝水 ナ ガ レ テ ル ミ 。 落月イの 山 ニ ハ イ 。 隱逝 ウ シ ン テ シ マ 。 惜オしくも惜オしく オ シ イ

悲カしこもおなしき シ イ 。 事コトになもアル 。 殯室 カ リ ニ シ ガ イ チ オ 。 任マに オ イ テ

現世うつしよ コノヨ。制掟おきて キマリ。然在るべくもしかかも ソノヤウニセウトオモフテモ 「四十一枚」在得ねはありね

スルコトアキ 遺骸おきがら シガイ。棺くわん ニクワン 歛おさめイレテ。昇載かきのせ ノセル。發葬式はつさうしきシキ

仕奉つかまつらくこ シヨウト。禮代れいだい シアゲルモノ。サ 進たてまつらくを トオモサ。所聞食きこいし ナキ

レテハ。前供まへまが モ。サキド 導奉みちまが コト。アンナイマウス 隨奉したがひまつリ エク。千歳ちとせの住所すまか スムトコロ

出向いであせ オイデナサレテ。

誅 詞 シンダヒトナイタム

「四十一枚」小學教はつじのまがた ノチシヘ。卒そヘシテ。全科すべてノコラズ 家業いへのわざ サチンシ 妻つまとし

シタ。舉坐あやせしき サンダ。德義とくぎ厚あつく タクサンヨキ。忠誠ちゅうじやう コノロナイ。孝順まうじゆん オヤニ

サデスナホ ナルコト。信用しんようぬ オノ人ナラバト 公共事業こうきぎやう シリザ。事ことなん コトハ。多おほか

りける オホクアツタ。家督いへのついで ワチノシン 老を養やしなひつゝ ナガラ。爲便すべなきも

の シカクノナイ 心氣こころ キモチ。不快ふくまい ヒヤサキ。醫師いしや イシヤ。「四十二枚」烏羽玉うはたま トイ

フコトメニツケテ 夜須我良よすがら シニ。赤根指あかねさす ツケテイフコトメニ 志美良しみがらに シゲシ 看

護まもらひて シテ。全またく シニサフ 請祈このひのつゝ ネガイナ 天壽あまのち ア。デンメイ 坐まけむ

アツタノカ。八十限路そひのくまぢ タントイリコ 隠かくり座ましゝ カケララシメ、シ 故かた カラシテ。搔暮かき

るゝ涙なみだに ドウシテヨキカ 見みも別わかかす ラメ。聞ききも別わかかぬ キイテモラカ

顯世うつしよ コノヨ。遺骸おきがら シンダシ 捧奉ささげまつりて コト。殯室あひま スルバシヨ。前世あひしよ ナラシ

タトキ 偲しのび オモヒ 後世のちのち ノヨ。儲たくわしも シテ。あるべきにあらぬ

ば ナルコトガテキ「四十二枚」埋葬かくしまつ サツムコト。穩おだに イメテ。幽界かくわい アノヨ。伊行到いぎやうたう

給ひユキナサ 正しきイワハリ 列ナカマニに 概ナゲクみ 白マサす

埋 葬 詞

列並みナラフ 立並みタチナラ 穩オトヨクに 懇切ネウカクに 埋葬式ハムリノシキ

「四十三枚」空蟬ウツセミ 果敢カカなき 昨日キノに 變カる 今イマ

日ヒの態カタ かなしからざらあや 現世ウツシヨ

在イマし、時トキ 疎ウツクからざれば 永人エイジン 遠人トウジン

思頼オモイタラみつ、朝露アサツユの 消キゆるが如ヨクく 身ミ

かりシモコト。言イはん術スベ 爲セん術スベ 此コノくてしも 清キ潔キヤク

在オるべきに 常磐トシテアル 柩ヒツツ 清潔キヤク

白妙シロイ 衣キモノ 「四十三枚」取テウ着キせ 和ワけき

衾シキモノ 坐マさせ 卷マかせ 年頃ナガラク 愛アヒ給たまひし

種々クサクサノ 厚アツ衾アツイ 指サシ覆おほひ 歛カフめ 儀ギ装サマ

榮サカゆる 五百イハ枝エ真マ榊サカキ 白幣シロハタ 青幣アヲハタ

取テウ垂して、打ウチ磨なぐ物モノ 斯カく仕つか奉へららくを 八十ヤチの隈かど手て

伊麻イマ曾ソウ加利カリ志シ時トキ 蒙カモる 百ヒヤク不フ足トク 一ヒト筋スジ

遙トホげくも 猶タ豫ヤふ 冥メイ界カイ アノ日ヒ 伊イ行イき 到いたり

めて 輕カく 安ヤスく 冥メイ界カイ アノ日ヒ 伊イ行イき 到いたり

坐マし 有イ功コト 招オモテ奉マツり 現ウツ世シヨ 幸サイく

眞幸マコトコトくクシシアアハハセセ 遠永トホナガにニ イイツツママテテモモ。

火葬詞

クワソウスルトキニ
ヨムコトバ。

奉告ツギりしリシアアゲゲタタ。此コノくクてテ在アるルへヘきキにニ オオルルココトトデデキキメメ。公オホウケのノ御ミ掟オケググッッ

道程ミチノリさへ遠トホければバ 死シナナレレタタ人ヒトノノムムララ。四十四四十四枚枚 迦具土神カキツノカミミミ。トトチチノノカカ 御稜威ミカサノのノ

任まかにニ セセテテ。チチカララニニママカカ 遺骨ウツボネススルル。取手トルテ静しづかかにニ モモツツカカニニ 收奉ウケマツイイレレテテ。令坐奉まかせりリイイ

ルルココトト。深ふかくク厚あつくクニニ。テテイイネネイイ 埋をまササムム。

葬後靈祭詞

ソウシキソノチン
マツリノコトバ。

齋奉いはいママツツルル。前まへにニ トトキキチチイイフフ。恙無つぎくクナナシシニニ。畢おひにニたたればバ 葬後のちの

靈祭たままつりママチチオオママツツリリススルルココトト。御心みこころのノ安幣帛やすみてやオオンンナナヘヘモモノノ。御思おもうハハシシメメ。

足幣帛たごみてやオオンンナナヘヘモモノノ。諾うけひヒシシテテ。遠御祖とほつひセセンンゾゾ。四十五四十五枚枚 乞祈こひのこココトト。

十日祭詞

十日ノ祭リノコトバ。

阿波禮あはれニニ。カカハハイイソソウウ 故かれニニ。エエ。伊寄集いよりつとひヒテテ ママツツテテ。静しづけけくク ママンンソソククナナササ 安やすけけ

くクシシテテ。汝なアアナナ。妻つま子こツツママユユ。四十五四十五枚枚 齊いっへへテテ。オオササメメ 財たからをを理ととめめテテ。カカネネヲヲタタメメ

厚禮あやにニ。テテイイネネイイ。嚴肅おびやかにニシシクク。肯令かえしめめ シシヨヨウウチチナナササレレテテ。

五十日祭詞

百日祭倣之

五十日祭ノコトバ
百日祭ノコトバ

坐奉まささままツツルル。ゴゴザザルルココ 逝水ゆくみづのノナナガガレレタルルホホ 五十日いそ百ひゃく日にち 五十日祭いそひゃくにちナナレレタタ。内うちノノ百ひゃく日にちヲヲママツツククスス。

嚴いづのノ御靈みたまタタママシシイイ。慰奉なぐさめららんン。ヤヤススメメヤヤツツ 菓このみキキノノミミ。四十六四十六枚枚 禍日まがひニニ云いふふ

神かみカカミミ。ササイイナナンン。禍事まがひササイイナナンン。相口會あひくちあふふ。率まららるる。カカハハルル。病やまししギギビビヨヨツツ

煩しき カラダチツル 業 シヒト 彌進め スイヨク 彌固め イヨク 八十續

ツナグク。 彌遠永 イヨク

壹年祭詞 一年ノマツリノ

阿波禮 カハイソウ 幽界 アノヨ 永人 ナガイキスル 遠人 イトマアモ 現世の習

コノヨソ。 得叶はず ナガイキスル 「四十六枝」 歎かひ ナゲキ 環 タマキ 如こ ゴトク

周りて マハツテ 偲び ホモヒ 斯く コノヤウニ 佛 カダチ 慈み カハイ 子女

チトコ。 席に待れども コノセキニナル 在らす ナイ、シンテシマ 悲しきかも ナカ

アルゴト。 悔しきかも ザンネンナコトデ 出立たし シナレタ 返座さむ カヘツ

ル。 術もなく ホウホウガ 甲斐なき カヒン 慰奉らむ ヤスメ 親族 ウチヤカラ

打集ひて ツチアツマ 白し イフコト 彌續き イヨク 伊賀志 イカシ 八桑

枝 クハノエダノダクサン

五年祭詞 五年祭ノコトバ 十年祭傲之 十年祭モコノトホリ

「四十七枝」 齋奉る マツルシミ 五年(十年) 五年祭ナレバ十年チケシ 故舊 トフルイナツミノヒ

御食 オアガリ 甘らに サマク 所聞食 オアガリ 禍事 サイナン 諸の イロ

眞幸く サイハイ 門 カド 子孫 コヤイヒ 伊賀志 イカシ 八桑枝 ハカエダクハ

改祭詞 マツリカヘルトキノ

「四十七枝」 皇御國 スミヨクニ 時 トキヨリ 天地の チノチ 神隨の道 カミツグミノミチ

直く ナツク 空蟬の世 ウツセミノヨ 降行く くだりゆ まにまに シタガ 神代 カミヤ

ミサマノゴノクニチ、オサメナサレタミヨ、**てぶり** ナラハシ。漸々にニク**式**ギシキ。共ナド。外國

風フウセイヨウ。率ヒララレシメガロ。立返たちかへリニナル。なるにつけてナルニシメガウテ。

御稜威みりやういイコウ。直澄鏡ちやうじやうきやうカクベツニ、ヨクサツル。まさやかにサエテアル御功德みいさなンオ

クドク。祈請奉いのみまるネガリ。何某なにがしはもマツリチ。スルヒト。大御陰おほみかげオントク。慕したみオモフテ。旨

意いヲケ。信奉しんぽうリシテ。正ただしき道みち天理教てんりきやう。直ただき教きやう天理教てんりきやう。「四十八枚」憐あはれカハイ

所思食おもひしレテ。オモヒナサ。災わざはひサイナン。禍わざはひサイナン。彌遠いやんにイツマテ。彌永いやんにイツマテ

幸多さいちやうかる。サイハイノ。神水かみづミン。片塩かたしほシホ。

遠祖祭詞えんそさいじ センソサマサマインヤ

遠祖えんそエセンゾ。世々よよの御祖みそエセンゾ。山野やまの山やま野のカラ。供奉そんぱんらくをソナヘテ

スルニエ。禍日わざはひといふ神かみのサイナンノ。禍事わざはひサイナン。「四十八枚」和都良比廼わつらひの

大人おとな云ふ神かみヤマヒノカミ。罪穢つみけがれイコト。萌もさぬ。メチダサ。拂退はらひのげラヒヨケル。

異いにナホサラ。八十續やそじゆにタクサンツ。美うつくしくリツバニ。諸もろにオホクノ人ニ。畏かしこ

みツハシンヤ。

信徒合祀祭詞しんとうがうさい シントチアハセテ

神床かみこニハ。カミチマツル。嚴いづのイ。イカメシ。神籬かみかきシテマツルトコロオイフ。立たて、ユシラ

汝神靈にががみたまアナタノ。等たちよ。オホゼイユ。恩頼おんらいオメケミ。現世うつしよコノヨ。伊麻曾加里いませがり

志時しときオイデノ。各おのソレンリ。「四十九枚」座まましアラセテ。隱世かくりよアノヨ。伊行いきて

オイデテ。導みちびアンナイ。仰奉あやぎまつアツト。座ませるナサレタ。故ゆゑになもありけるエ

テアル。仕奉らまよくオウカヘマウソソト 齋奉らむマツシ 臨時リンシ 腹満並ハラミツナ

べトクリニイツマイ 高杯タカツキのハ、ヨクモツチモルウツ 彌高成イヤタカナしてタカクモリ 生オふる

ハエテアル。置足オキタラはしてオキナラ 相管オヒナリにイワシヨニ 甘ウマらにウマク「四十九枚」夜ヨ

の守オモリ ヨサリチマモリ 日の守ヒノオモリ ヒルチマモリ 布弘フキヨシらチシヘチ

信徒合靈祭詞

マツルトキノコトメ。

靈代ミたましろ カミノタマシイニカヘテ 神籬ヒムろ サカキチタメクラシテ、カリニカミノ 招奉オきまつりオマネキシテマ

坐奉マせまつりマツルトシテ 八十日ヤソヒ タクサン 汝神靈等ニガミタマ アナタノタマ 礼代レいだい アイトシテカニオ

フ。片塩カタシ シホ 大野原オほの ヒロイノ 甘菜アマナ ウマキナ 辛菜カラナ カライナ 大海原オほ ウミ

鱧はたの廣物ひろもの オホキナ 鱧はたの狭物さまもの チイサナ 奥津藻おくつ ウミノナカニテ 葉邊津藻葉はへつづつ ウミ

ハウテオ。横山ヨコヤマの如ごとくタカク「五十枚」各おののメくノ 諸もろのノくノ 穩おだにアンシ

ヤウニ。廣ひろらにヒロク。遠とほらにトホキトコ 弘ひろめしめヒロメサセテ。

天理教祝詞集字解終

明治三十六年七月五日印刷
明治三十六年七月十九日發行

不許複製

編纂者

田中儀三郎

大阪市南區高津町六番町廿一番地

大阪市西區阿波座一番町六十番屋敷
大阪製本印刷株式會社代表者

印刷者

矢野松吉

販賣所

奈良縣山邊郡丹波市町三島七番屋敷

木下松太郎

奈良縣山邊郡丹波市町三島五番屋敷

今村書店

奈良縣山邊郡丹波市町三島

中田書店

奈良縣添上郡帶解村字今市

木原文進堂

奈良縣添上郡帶解村字今市

井久保書店

